

平成 21 年 3 月
株式会社ネクスト21
代表取締役 鈴木茂樹

当社の研究テーマが(独)医薬基盤研究所の
「医薬品・医療機器実用化研究支援事業(委託事業)」
に採択されました

弊社が研究開発を進めている「表面処理と形状の最適化による革新的ユニット人工骨の実用化」に関する新たなプロジェクトが独立行政法人医薬基盤研究所(所在地:大阪府)の「医薬品・医療機器実用化研究支援事業(委託事業)」平成 20 年度二次募集分に採択されました。本委託事業は平成 22 年度まで継続し、初年度の配分金額は1億円です。

人口の高齢化や医療の進歩に伴い人工骨を必要とする患者さんや治療が急激に増大しています。しかしながら従来の人工骨には、カルシウムイオンの過剰放出により誘発される急性炎症反応、成長因子等の吸着による骨再生遅延、再生組織の侵入が可能な連通孔の不足による骨リモデリング阻害、等の課題があります。すでに弊社は NEDO の支援の下、これらの問題を解決する人工骨の製造技術を確立し、先端医療開発特区(スーパー特区)の課題にも採択されています。今回の支援研究ではこの人工骨を使用して、長期動物試験による有効性の確認を行うと共に臨床研究による安全性・有効性の確認、及び承認申請のための治験を実施し、早期の実用化を目指します。

ネクスト21は画期的な新技術、薬剤の研究開発により医療の発展に貢献することを願っています。